

岩国医療圏地域医療構想調整会議
(令和6年度第1回) 議事概要

【日時】 令和6年6月25日(火) 19:00～19:45

【開催方法】 山口県岩国総合庁舎1階 共用第8会議室

【出席者】 出席者名簿のとおり

【議事内容】

- 地域医療構想の進捗状況の検証を行い、医療機関対応方針の取組の実施状況等について確認した。
- 岩国病院から、地域医療構想の達成に向けた対応方針の変更及び病床機能再編支援事業に係る単独病床機能再編計画について説明があり、合意した。

- 1 令和6年度地域医療構想調整会議の進め方について
- 2 令和5年度病床機能報告結果について
- 3 地域医療構想の進捗状況の検証について

県医療政策課から、今年度の地域医療構想調整会議の進め方や令和5年度病床機能報告結果について説明を行った。

また、地域医療構想の進捗状況の検証を行い、医療機関対応方針の取組の実施状況等について確認した。

(主な意見・質問等)

- 当圏域では依然として医療人材の確保が難しく、県西部などの他圏域と比較して回復期病床の整備が遅れている状況に変わりが無い。
⇒ 岩国病院や美和病院において、不足する回復期病床への機能転換が予定されており、取組は着実に進んでいると考えている。地域の実態を踏まえて、必要な医療機能の確保充実に向けて、引き続き、御協議いただきたい。
- 救急医療体制に課題がある宇部・小野田圏域を推進区域だけでなくモデル推進区域に選定するよう国に提案することだが、モデル推進区域に選定された場合、その取組が当圏域において参考となるのか。
⇒ 救急医療体制の維持については全圏域共通の課題であり、宇部・小野田圏域における課題解決に向けた取組は、本県にとどまらず全国的な波及効果が見込まれると考えている。

4 対応方針（2025 プラン）の変更について

岩国病院から、急性期病床の全てを圏域で不足する回復期病床へ転換することや慢性期病床の削減について説明を行うとともに、プラン変更に伴う病床機能再編支援事業に係る単独病床機能再編計画について説明を行った。

協議の結果、対応方針の変更及び単独病床機能再編計画について合意した。

（主な意見・質問等）

特に意見、質問等はなし。